

地域人材ネット

地域住民が主体となった課題解決型
「観光まちづくり」

若林 伸一 (わかばやし しんいち)

特定非営利活動法人 自然体験学校 理事長



○ 登録者情報
所在地

沖縄県島尻郡

略歴

東京都葛飾区出身

○1985年 学生から起業。北海道にて自分で家建てて体験型の宿を開業。

○1989年 自然体験などを提供する会社を設立。-ノース・ドリーム

※住友重工のホバークラフト操縦士資格、日本酸素スポーツカイトインストラクター、PSAパラグライダー技能証、北海道アウトドア資格者制度の制度設計やインストラクターマニュアルの作成など

○1994年 廃校活用をした総合体験施設の会社を設立-とちぎ自然体験学校

○2000年 十勝川温泉と連携した修学旅行の受入れの会社を設立。-十勝ネイチャーセンター

○2004年 これまでのノウハウを集約した「観光まちづくり」のNPO法人を設立-自然体験学校

資格に関しては、空、水、フィールド、レクリエーション、環境、救急法等70以上取得

○観光地域プロデューサー、農林水産省農山漁村地域力発掘支援事業アドバイザー、子ども農山漁村交流プロジェクト交流アドバイザー(農林水産省)、日本生活協同組合連合会体験観光安全部会座長、半島振興室地域アドバイザー(国土交通省)、活力ある漁村づくり委員(水産庁)、ちほく体験観光協会会長、豊浦・洞爺湖子ども農山漁村協議会会長、内閣府「特定有人国境離島地域プロジェクト推進アドバイザー」など

○現在

・中小企業119専門家

・千葉県産業振興センター 農商工連携専門家

・神奈川県商工会連合会 小規模企業支援強化コーディネーター

・沖縄観光コンベンションビューロー講師及び教育旅行アドバイザー

○ 地域住民が主体となった課題解決型「観光まちづくり」

取組の内容

《地域の資源のプログラム化と商品化》

お金を掛けなくとも、地域にたくさんある資源をマニュアル化して商品として販売できるものにします。

地域の課題も、都市の方たちには宝になるものもあります。竹林の荒廃、耕作放棄地、収穫課題、人手不足、特定外来種駆除など

《地域住民の活躍の場(地域ぐるみで観光振興)》

修学旅行のあり方も、これまでの観光地から体験のできる場所になりました。

各地では、修学旅行や教育旅行などの団体の誘致をしたくても、大人数のため観光協会や地域おこし協力隊だけでは受入れる事はできません。

そのため、地域の住民にインストラクターになってもらえるように養成します。

住民は、やる気や地域への誇りだけではなく副収入も得る事が出来ます。

また、一般観光やインバウンドも「地域の体験をする」「地域の人と交流する」「その地域を学ぶ」がキーワードになってきていて、地域住民のインストラクター化は地域活性化のためには重要です。

《誘客支援》

その体験に合った旅行会社、団体、教育関係などの誘客支援をします。

最終的には、地域が自走できるように、しっかり伴走します。

地域のファンを作ると、移住定住にもつながります。



住民インストラクターの養成



地域課題のもみかの総もぎ体験

実績

- ・北海道洞爺湖地域では、ジオパーク中心に4Rなどの体験を提供、特定外来種ウチダザリガニの駆除体験、捨てるだけの鮭のつかみ取り体験などを実施し、住民インストラクターも養成し1万人以上の誘客に成功している。
- ・沖縄県南部は、平和学習しかない地域とされてきており、糸満市以外はその恩恵はほとんど受けていない状況にあった。そこで、平和学習、ホームステイ(教育民泊)、自然体験、地域の体験などを組み合わせて商品化をして、住民200名以上をインストラクターとして養成し誘客し、年4~4万5千人の受入れをしてきた。住民インストラクターには、年1億円程度支払いをしている。
- ・新潟県粟島浦村では、自然体験学校を作り、20以上のプログラムを開発し、住民インストラクターを養成し観光協会と連携して、島ぐるみの体制を整えた。また、無医村のため62名の方が認定救急法を取得し、安心・安全の体制を整えた。結果、移住者も増え、次年度から観光客も増えた。
- ・神奈川県大井町相和地域(1,400名弱)では、高齢化によるミカンの収穫が出来なかったり、竹林が荒れ、耕作放棄地も増えている。地域課題を中心としたプログラムを50作り、住民インストラクターも76名つくり週末は一般体験、平日は教育旅行の受入れ体制や宿泊施設も無い民泊体験の体制も整えた。
ミカン収穫に関しては2021年で5日で1,000名の有料体験の受入れをした。移住者も増えている。
- ・千葉県柏市沼南地域では、農業体験を中心にプログラムを作り、住民インストラクターを養成し、外部の誘客だけではなく、市内の小学校の体験受入れもすることになり拡大している。

工夫した点や苦労した点

初めに、その地域に合うような他地域の事例の講演をします。会議とワークショップは最低限にします。まずは地域資源と人的資源を徹底的に調べ、地域の方たちと信頼関係を築く事が重要だと考えています。対話をしながらプログラムを考えていき、どんどん試行を繰り返します。よそ者として、地域では言いにくい異年齢、異業種の中にどんどん入って調整役をします。地域のキーマンを巻き込み、地域全体が関わる人材育成をします。最終的には、地域住民が自走して私が必要ない仕組みを構築します。

ひとことPR

1985年から体験観光をはじめ、これまで50万人以上の体験を実施してきました。新型コロナウイルス前までは沖縄の観光ゼロの町で年間4~4万5千人の修学旅行や体験の受入れをしてきました。これらの現場のノウハウを持ちながら、日本国内50か所以上のいろいろな地域で「観光まちづくり」の支援をしています。これまでの空、水、フィールド、環境、レクリエーションなどの70以上の資格取得の経験を活かし、いろいろな提案をして体験の商品化をしていきます。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
○ その他 体験を通じた6次産業化	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	○ その他 SDGs体験プログラム
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 修学旅行の誘致
○ その他 防災体験	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
○ 子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	○ その他 住民向けプロモーション
その他	

関連ホームページ

自社のホームページ	https://www.shizentaiken.com/

連絡先

メールアドレス	wakabayashi〔アットマーク〕shizentaiken.com	nvui〔アットマーク〕shizentaiken.com
---------	-------------------------------------	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。